

婦人科検診オプション ☆子宮頸がん検診と同時に可能です☆

・子宮超音波検査 (子宮、卵巣超音波検査：2,750 円)

婦人科疾患の早期発見にこの検査の追加をお勧めします。

「子宮がん検診」とは通常「子宮頸がん検診」の事を指します。

子宮頸がん検診は膣から細い器具を挿入し、子宮の入り口（子宮頸部）の細胞を少しこすり取る検査と簡単な内診（触診）を行います。

この検診により子宮頸がんは早期診断が可能となり内診により大きな筋腫や婦人科系の疾患の一部は診断ができます。

しかし、内診では実際には腹筋、脂肪、腸管などの奥に位置する小さな子宮・卵巣の異常所見を確認す以外のことは難しいため、検診のみでは子宮頸がん以外の婦人科疾患の確認はほとんどできません。子宮超音波検査により子宮筋腫、子宮内膜ポリープ、卵巣のう腫、卵巣がん、子宮体がんを診断することが可能になりました。

検査にかかる時間は5分ほどで、使用する超音波プローベはごく細いものですのでタンポンを使用できる方ならまず痛みなく行える検査です。

・HPV 検査 (子宮頸がんリスク検査：4,400 円)

将来の子宮頸がんリスクが分かるこの検査の追加をお勧めします。

HPV（ヒトパピローマウイルス）とは、性交渉などによってほとんどの女性が感染されるといわれている、ごくありふれたウイルスです。

HPV が子宮頸部の細胞に感染しても、多くの人は免疫力で 1～2 年以内にウイルスは消失します。ところが、約 10%の人は HPV を排除できず、感染が持続してしまうことがあります。感染が持続すると5～10年という年月を経て子宮がんへと進行していく可能性があります。

「HPV 検査」とはウイルス感染を調べる検査です。

100 種類以上の型がある HPV のうち 16 型、18 型が最もがんに移行しやすいタイプです。日本人の子宮頸がんの約 60%はこのタイプで、感染後の進展スピードが速いといわれています。最新の HPV 検査ではハイリスク型 HPV に感染しているかに加えて、16 型、18 型の感染であるか否かがわかる簡易ジェノタイプ検査が広まっています。

当クリニックでは簡易ジェノタイプの HPV 検査を行っております。

子宮超音波検査、HPV 検査は検査直前や検査中に医師に申し出ても追加検査可能です。